

## 2011年度聖和短期大学自己点検・評価結果について

関西学院評価推進委員会

委員長 ルース・M・グルーベル

聖和短期大学の2011年度自己点検・評価結果である「2011年度聖和短期大学自己点検・評価報告書」を公表いたします。

関西学院は、内発的で自律的な発展への循環過程（P D C Aサイクル）を強化するため、認証評価と連動させた自己点検・評価を毎年行う制度（「新たな自己点検・評価」）を2004年度に構築しました。そして、大学が2005年度の自己点検・評価報告書により2006年度に大学基準協会による認証評価で「適合」の認定を受け、2007年度からは学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価（進捗状況報告）（以下、自己点検・評価という）を毎年実施してきました。

聖和短期大学は、大学と同様の方法により自己点検・評価を行うことを決定し、2009年度に短期大学基準協会に準拠した評価項目を定め、評価項目ごとに目標を設定、2010年度に自己点検・評価を実施しその結果を公表しました。本年度（2011年度）も、6月より自己点検・評価を開始し、7月には全学の自己点検・評価の実務作業を担う評価専門委員会に自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）を提出しました。8月からは評価専門委員会（学外委員6名《大学関係4名、短期大学関係2名》・学内委員10名）が自己点検・評価に対して「学内第三者評価」を行い、10月には自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）返却に伴い、相互に内容を説明・確認し合い、よりよい自己点検・評価や組織的な改善への取り組みを行っていくために、評価専門委員会と聖和短期大学が意見交換を行いました。その後、聖和短期大学による「学内第三者評価を受けての追加記述」と「公示」「意見申し立て」を経て、本日、関西学院評価推進委員会において「2011年度聖和短期大学自己点検・評価報告書」が承認されました。

この報告書において、浮かび上がってきた「効果が上がっている事項」や「改善すべき事項」、「学内第三者評価」によって指摘された事項などに真摯に向き合い、教育研究水準の向上を図っていきたいと思います。

なお、聖和大学短期大学部（合併により聖和短期大学に名称変更）は、法人合併前の2007年度に短期大学基準協会にて認証評価を受け、「適格」となっていることを付記させていただきます。

以上